



資産管理用イントラネットパッケージ

Asset Coordinator 3

Microsoft® SQL Server™ 2000 を
Asset Coordinator 3 のDBサーバとして使用する方方法

● はじめに

本書は、Microsoft® SQL Server™ 2000(以下 SQL Server 2000)を Asset Coordinator 3 の DB サーバとして使用するための設定方法を記載します。

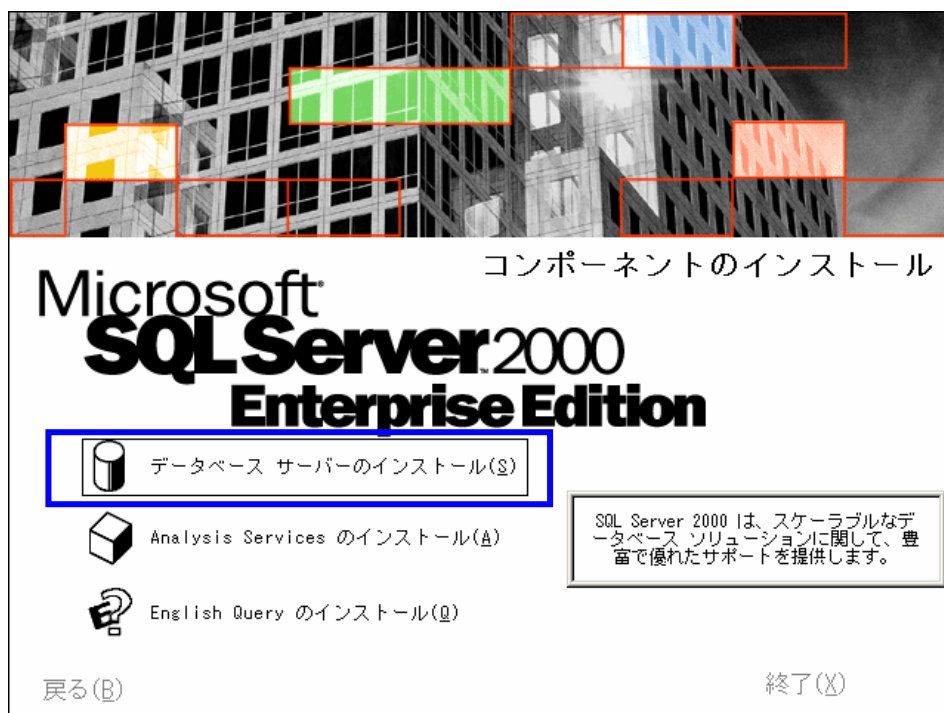
尚、本書で取り扱う SQL Server 2000 のエディションは SQL Server 2000 Enterprise Edition としております。

● Asset Coordinator 3 のDBサーバとしてSQL Server 2000 を使用する ためのインストール手順

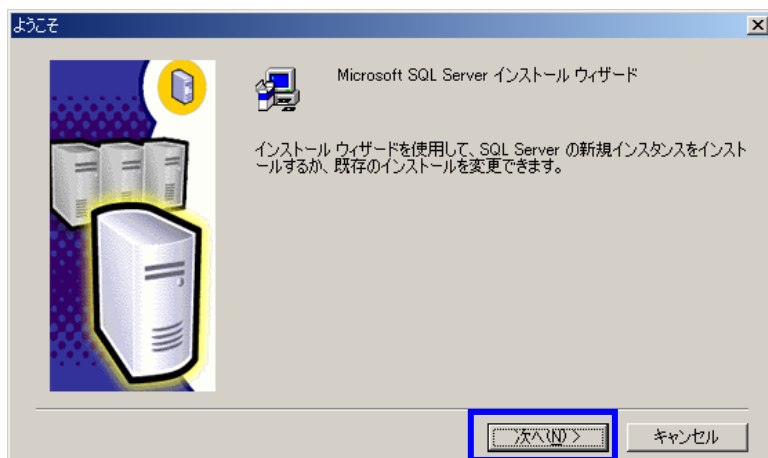
- ① SQL Server 2000 コンポーネント を押下します



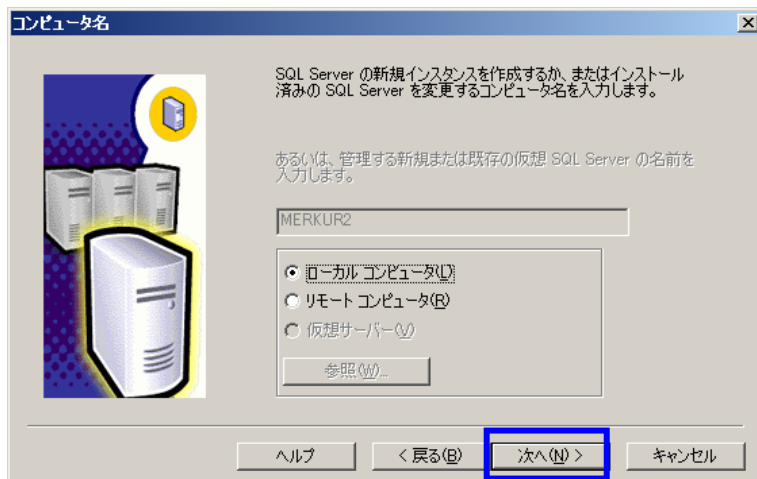
- ② データベース サーバーのインストール を押下します



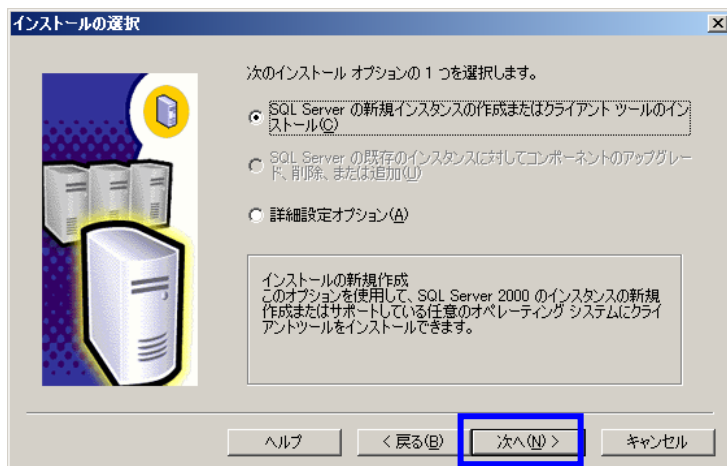
③ 次へ を押下します



④ ローカルコンピューター を選択し、次へ を押下します



⑤ SQL Server の新規インスタンスの作成またはクライアント ツールのインストール を選択し、次へ を押下します



⑥ 名前、会社名を入力し、**次へ** を押下します

ユーザー情報

名前を入力してください。会社名は省略できます。

名前(A):

会社名(C):

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

⑦ 使用許諾契約書を読み、許諾する場合は **はい** を押下します

使用許諾契約書

以下の使用許諾契約書をお読みください。契約書の表示されていない部分をご覧いただくには、Page Down キーを入力します。

使用許諾契約書
(Microsoft SQL Server 製品サーバーライセンス)
重要 — 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。本使用許諾契約書 (以下「本契約書」といいます) は、上記に示されたマイクロソフトソフトウェア製品 (以下「本製品」といいます) に関してお客様 (自然人または法人のいずれであるかを問いません) と Microsoft Corporation (以下「マイクロソフト」といいます) との間で締結される法的な契約書です。本製品は、コンピュータソフトウェアを含み、それに関連した媒体、印刷物 (マニュアルなどの文書)、および「オンライン」または電子文書を含むこともあります。本製品に、本契約書の修正または追加条項が付属している場合があります。本製品をインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、マイクロソフトは、お客様に本製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。そのような場合、未使用の本製品を直ちに購入店へご返品いただければ、お支払いいただいた金額を全額払戻しいたします。

本製品には、以下のソフトウェアが含まれている場合があります：

上記の使用許諾契約書のすべての条項に同意しますか？ [はい] を選択すると、セットアップは中止されま
す。Microsoft SQL Server 2000 をインストールするには、この契約書に同意していただく必要があります。

< 戻る(B) **はい(Y)** いいえ(N)

⑧ CD キーを入力し、**次へ** を押下します

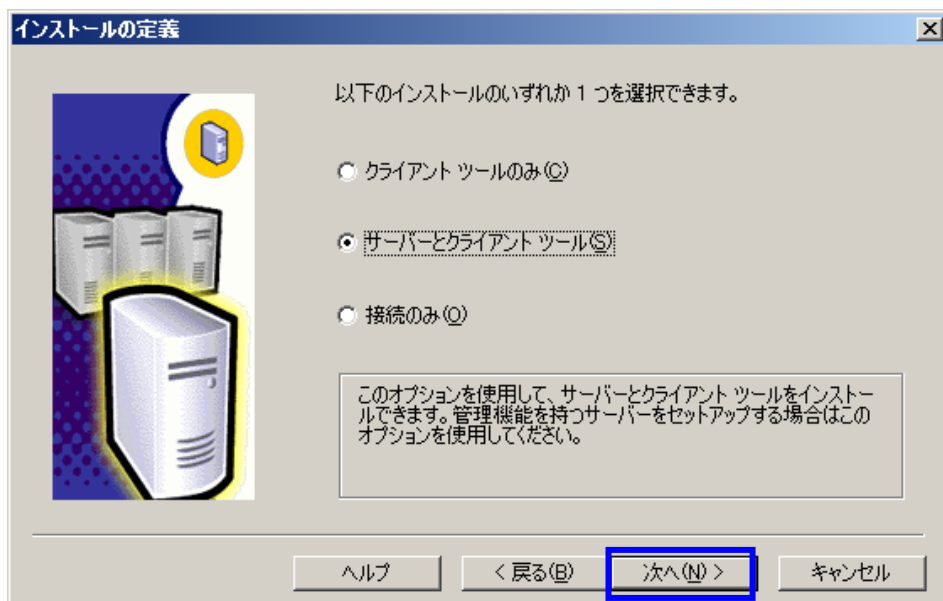
CD キー

25 桁の CD キーを入力してください

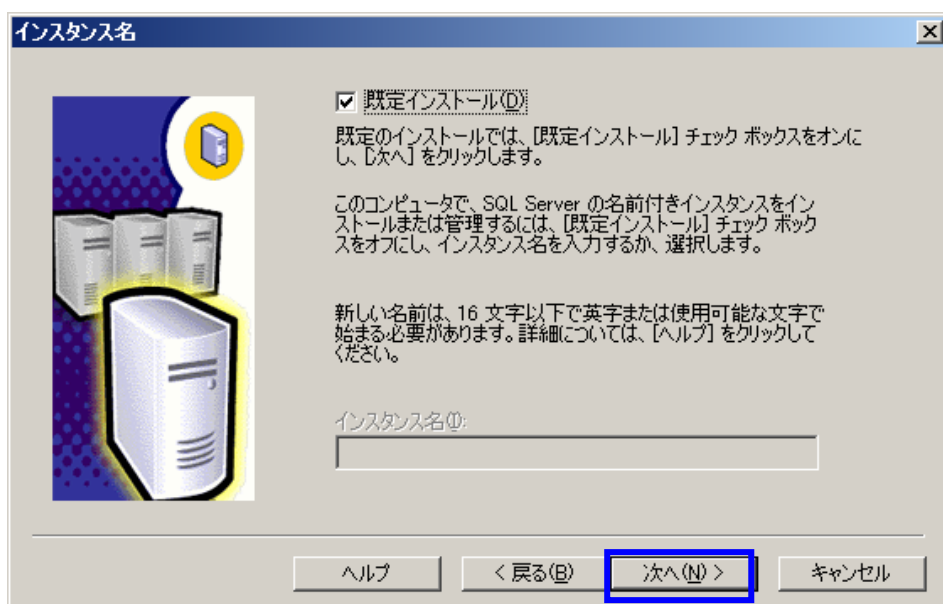
この番号は、CD ケース背面の黄色いステッカーに記載されています。

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ⑨ サーバとクライアントツール を選択し、次へ を押下します



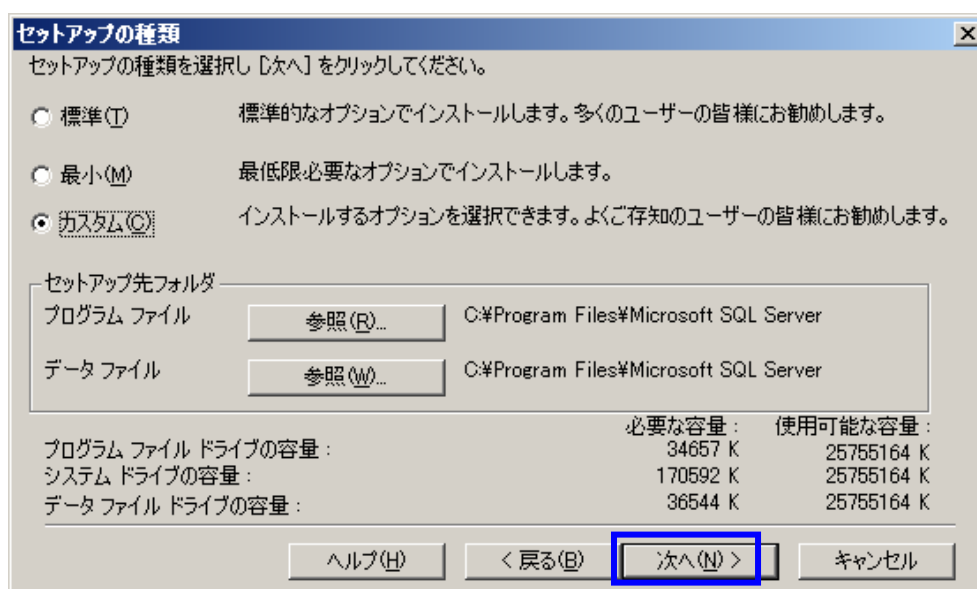
- ⑩ 規定インストール を選択し、次へ を押下します(このとき SQL Server が PC にインストールされていない場合は、規定インストールがデフォルトで選択されます)



- ⑪ **カスタム** を選択し、インストール先フォルダを確認後、**次へ** を押下します

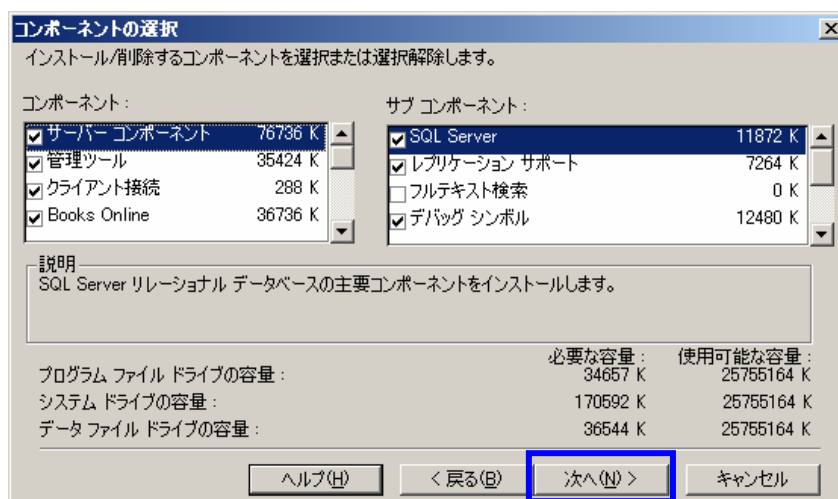
※カスタム を選択しないと、Asset Coordinator 3 の DB サーバとしては使用できません

(カスタムを指定しなければならない理由については、後述の⑮で「照合順序」を指定するためです。照会順序については「●SQL Server における照合順序について」をご確認ください)



- ⑫ コンポーネントの **サーバコンポーネント**、サブコンポーネントの **SQL Server** にチェックが入っていることを確認し、**次へ** を押下します

(すべてにチェックを入れて「次へ」を押下すれば問題ありません)



- ⑬ サービスの設定に **ドメインユーザアカウントを使用** を選択し、ユーザ名、パスワード、ドメインを適宜入力し、**次へ** ボタンを押下します
(おそらく ローカル システム アカウントを使用 を選択しても問題ないと思われます)

サービス アカウント

各サービスに同じアカウントを使用。SQL Server サービスを自動起動(E)
 各サービスの設定をカスタマイズ(Z)

サービス

SQL Server(S)
 SQL Server エージェント(A)

サービスの設定

ローカル システム アカウントを使用(L)
 ドメイン ユーザー アカウントを使用(R)

ユーザー名(U): Administrator
パスワード(P):
ドメイン(D): MERKUR

サービスを自動的に開始する(O)

ヘルプ(H) < 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- ⑭ 認証モードに **混合モード(Windows 認証と SQL Server 認証)** を選択し、SA ログインのパスワードの追加 に適宜入力し、**次へ** を押下します

認証モード

認証モードを選択します。

Windows 認証モード(W)
 混合モード (Windows 認証と SQL Server 認証)(M)

SA ログインのパスワードの追加:

パスワードの入力(E):
パスワードの確認(F):

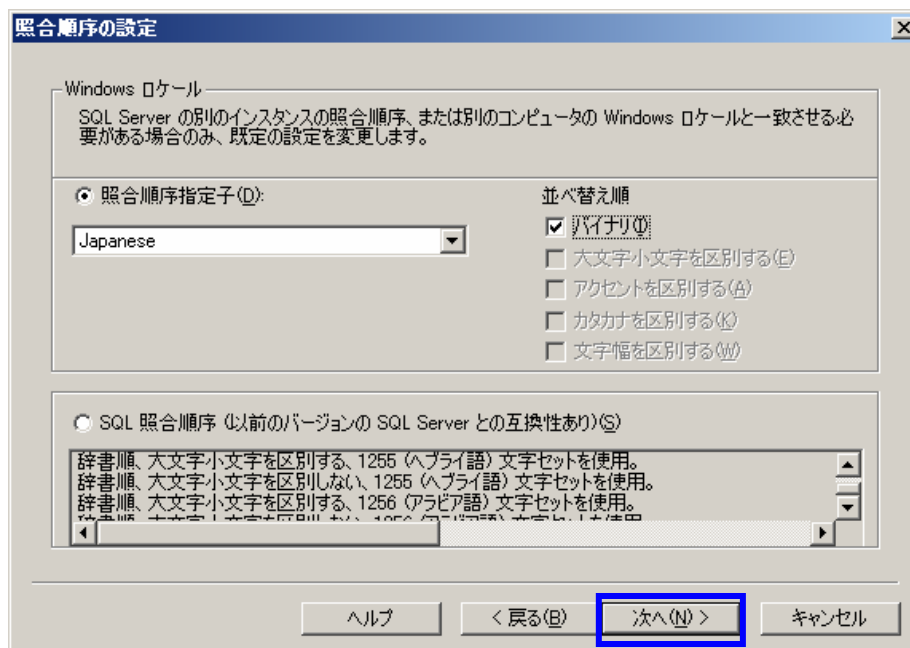
ブランク パスワード (お勧めできません)(K)

ヘルプ < 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

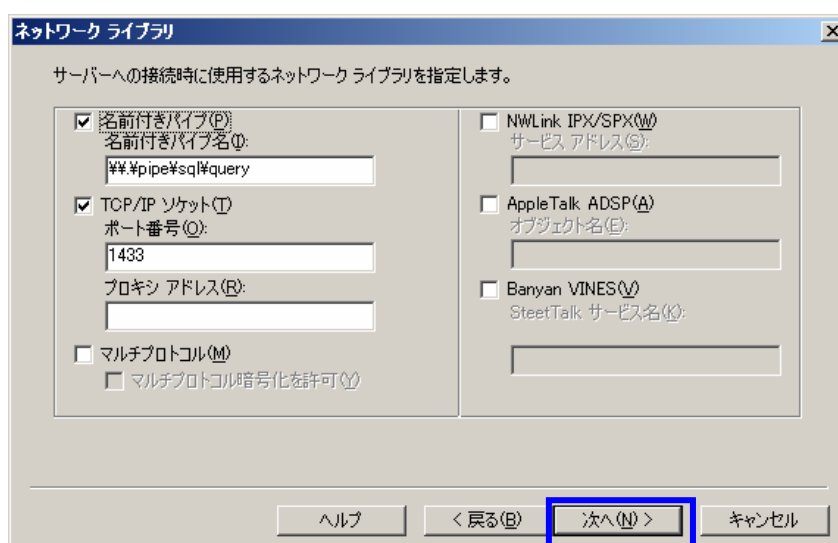
- ⑮ Windows ロケール欄の 照合順序指定子 に **Japanese** を、並び替え順に **バイナリ** を指定し、**次へ** を押下します

(Asset Coordinator 3 の DB として SQL Server 2000 を使用する場合にカスタムインストールを実施しなければならない理由は、この照合順序の設定を行わなければならないためです。

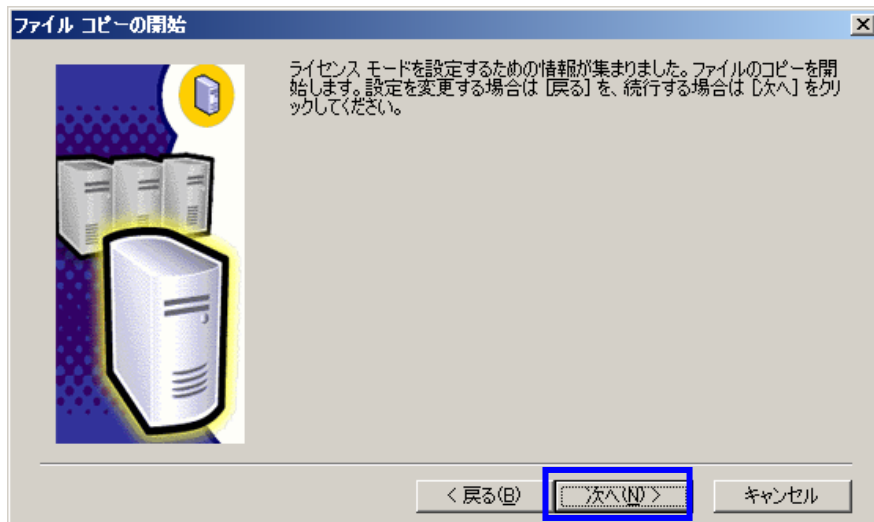
Asset Coordinator 3 の DB サーバは照合順序指定子に「Japanese」、並び替え順に「バイナリ」を使用しているため、その設定に併せなければなりません)



- ⑯ デフォルトのまま、**次へ** を押下します



⑰ 次へ を押下します



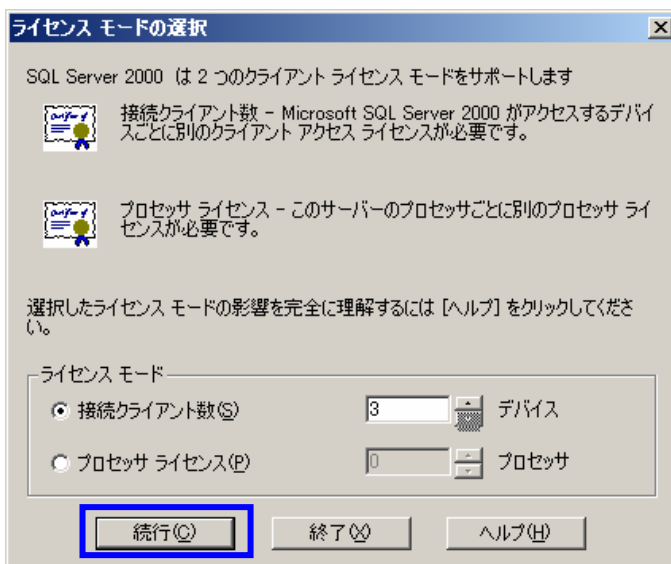
⑱ ライセンスモードを適宜指定し、**続行** を押下します (ファイルのコピーが実行されインストールが開始されます)

※ 指定値は、購入したライセンス形態によって変わります

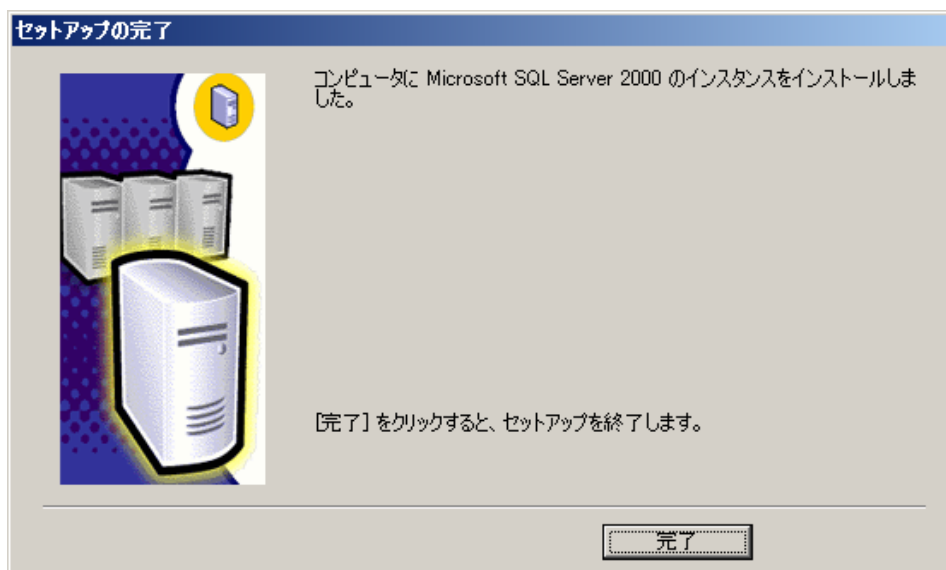
詳細は、Microsoft TechNet の

[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/aa176594\(SQL.80\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/aa176594(SQL.80).aspx)

を参照してください

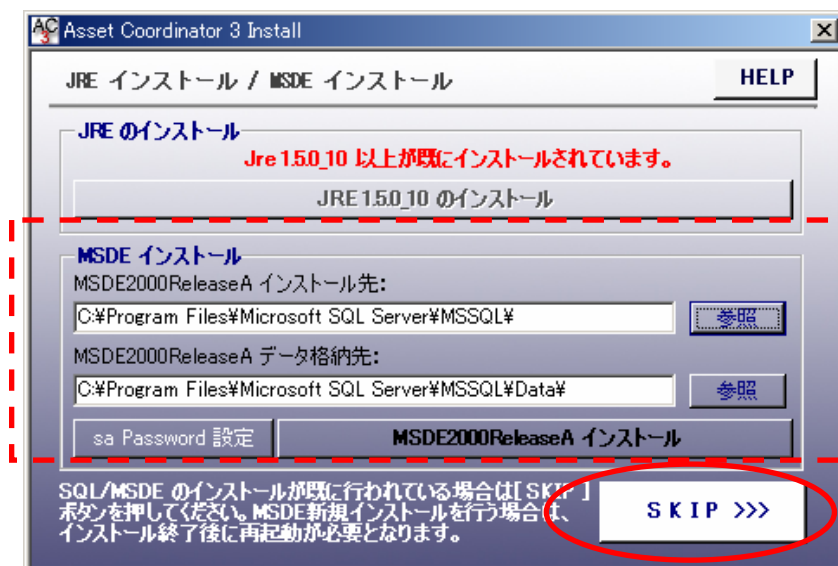


- ⑱ SQL Server 2000 のセットアップが完了となります



【以降、Asset Coordinator 3 インストールでの注意点】

- ⑳ Asset Coordinator 3 のインストール時、**MSDE インストールは実施せず (MSDE2000ReleaseA インストールボタンを押下せず) に、SKIP ボタンを押下してください**



以降は、インストール完了まで行えば、SQL Server 2000 を Asset Coordinator 3 の DB サーバとして扱うことが可能となります。

● SQL Serverにおける照合順序について

本項は、参考として SQL Server における**照合順序**の説明となります。

詳細については、Microsoft の SQL Server に関する Web ページを参照いただけますようお願い致します。

■ 照合順序とは

照合順序とは、データの比較や照合の方法を決める規則のことです。

例えば、データ比較する際に、大文字小文字を無視して比較するかどうか、アクセントの有無を区別して比較するかどうか、などを決めるものです。

SQL Server 2000 (MSDE2000) 以降では、1 台のサーバで、異なる照合順序のデータベースを扱うことができます。また、テーブルは列レベルで照合順序を指定することができるようになっています。(旧バージョンの SQL Server ではサーバ単位にしか設定できませんでした)

DB 同士で照合順序が違う場合、それらの DB 間でデータの比較等をしたりすると「操作での照合順序の競合を解決できません。」というエラーとなり、比較ができないこととなります。

■ 照合順序の種類

照合順序指定子

SQL Server で使用する言語によって選択する指定子は違います。日本語を使用する場合は、「Japanese」を選択することとなります。

並び替え順

別紙「照合順序 並び替え順一覧」を参照願います。

■ Asset Coordinator 3 における照合順序

Asset Coordinator 3 における照合順序は、MSDE2000 インストール時に、照合順序指定子として **Japanese** を、並び替え順として **バイナリ** を指定しています。

よって、別途インストールする SQL Server 2000 を Asset Coordinator 3 の DB として使用する場合は、この値に準拠しなければなりません。

ご不明な点やご質問等がございましたら下記アドレスまでご連絡ください。

メールお問い合わせ先; pallet@jalinfotec.co.jp

株式会社 JAL インフォテック

Copyright (C) JAL Information Technology Co., Ltd.

■ 別紙 照合順序 並び替え順一覧

並び替え順 (サフィックス)	並び替え順の説明
バイナリ (_BIN)	<p>大文字小文字とアクセントが区別されます。バイナリは、最速の並び替え順でもあります。詳細については、「バイナリ照合順序の使用」を参照してください。</p> <p>AssetCoordinator3ではこの並び替え順を採用しています。</p>
大文字小文字を区別する (CS)	<p>大文字と小文字が区別されます。このオプションを選択した場合、最初に小文字、その後で大文字が並び替えられます。</p> <p>このオプションを選択しない場合は、大文字と小文字を同じものとして並び替えが行われます。</p>
アクセントを区別する (AS)	<p>アクセントのある文字とアクセントのない文字が区別されます。たとえば、“a” と “â” は等しくありません。</p> <p>このオプションを選択しない場合、アクセントのある文字とアクセントのない文字が同じものと見なされ、並び替えが行われます。</p>
かなを区別する (KS)	<p>日本語のひらがな文字とカタカナ文字が区別されます。</p> <p>このオプションを選択しない場合は、ひらがなとカタカナを同じものと見なして並び替えが行われます。</p>
文字幅を区別する (WS)	<p>同一文字の 1 バイト表現と 2 バイト表現が区別されます。</p> <p>このオプションを選択しない場合は、同一文字の 1 バイト表現と 2 バイト表現を同じものと見なして、並び替えが行われます。</p>